

# ro むすび

一般社団法人  
高知県労働者福祉協議会 機関紙  
■高知県本町4丁目1-32  
こうち勤労センター内  
TEL (088) 824-3583  
FAX (088) 875-4887  
E-mail kochirf@shirt.ocn.jp  
HP <http://www.rofuku.com>  
■発行責任者 折田 晃一

166号

2020年  
新年号

## 2020年 年頭あいさつ

明けましておめでとうございます。

日ごろの労福協運動に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

いま、格差と貧困の拡大が世界中で大きな問題となっています。一部の者が富を独占し、中間層も分解され二極化が進行しています。加えて、異質なものを排除し、多様性を否定する不寛容な動きも強まり、社会の分断と亀裂をもたらしつつあります。日本においても、あらゆる世代で格差・貧困が拡大し、公助・共助の輪からも取り残され孤立を深めている人が増えているという実態があります。特に子どもの貧困は将来の日本を考えるうえでより深刻な問題です。今こそ、「連帯・協同」に価値を置く協同組合や労働組合が、分断社会を変えていくために真価を発揮すべき時期です。

高知県労福協は、働く者の《共助》から、ライフサポート事業の更なる活動を通じ《公助》への運動へつなぎ、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をつくることをめざします。そのために、《福祉はひとつ》という原点を忘れずに、会員団体との結束を強めるとともに、多様な団体や市民とそれぞれの取り組み課題に応じて「目的と目標、実現したい事柄で連携する」ことを大事にしていきます。

引き続き、労福協運動への参画とご支援をお願い申し上げます。

一般社団法人高知県労働者福祉協議会

会長 折田 晃一

## 高知県労働者福祉協議会役員



会長  
折田 晃一  
(連合高知)



副会長  
間嶋 祐一  
(四国労働金庫)



副会長  
山崎 秀一  
(こくみん共済coop(全労済)高知推進本部)



理事  
池澤 研吉  
(連合高知)



理事  
石川 俊二  
(高知県勤労者旅行会)



理事  
國弘 昭  
(高知県退職者連合)



理事  
須内 宗一  
(高知勤労者福祉サービスセンター)



理事  
橋川 慶一  
(高知県生活協同組合連合会)



理事  
浜田 嘉彦  
(高知県労働安全衛生センター)



理事  
松岡 和男  
(高知県労福協理事会)



監事  
中野 勇人  
(高知県平和運動センター)



監事  
山本 弘三  
(年金福祉広域協会高知支部)



監事  
谷田 憲一  
(連合高知)



監事  
中野 勇人  
(高知県平和運動センター)



監事  
山本 弘三  
(年金福祉広域協会高知支部)

# 2020年 年頭挨拶



労働者福祉中央協議会  
会長 神津 里季生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は中央労福協の諸活動にご協力をいただき、ありがとうございました。とりわけ、結成70周年の節目にあたっての活動の検証や今後の方向性について、組織の内外より貴重なご意見・ご助言をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

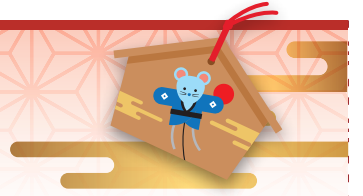
お陰様で、昨年11月の総会で「労福協の理念」と今後の活動の指針となる「2030年ビジョン」を決定し、次の10年の活動へ一歩を踏み出しました。私たちは、この理念やビジョンに基づき、すべての働く人の幸せと豊かさをめざし、連帯・協同の力を結集し、「安心・共生の福祉社会」を実現するための取り組みを進めていきます。

世界で格差や貧困が広がり、持続可能性の危機が深まっています。日本でも自己責任論が蔓延し、「助けて」と言えない社会の空気が強まっています。今こそ、貧困をなくし「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会をめざすSDGsの目標達成や、「助け合い・支え合い」を社会に根づかせていくために、私たちが真価を発揮する時です。

そのためには、労働組合と協同組合がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に連携していくことが極めて重要です。ILO（国際労働機関）とICA（国際協同組合同盟）は、ディーセントワークの実現や協同組合の促進においてパートナーとしての関係を深めています。日本においても、労働運動と労働者福祉事業が「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を広げるとともに、公的セーフティネットの強化との両輪で、安心して働き暮らせる地域共生社会をつくっていくことが必要です。

中央労福協は、これからも「福祉はひとつ」という原点を大切に、労働運動と労働者福祉事業をはじめ、消費者運動、NPO・市民運動などを“つなげる”役割を果たしていきます。それぞれの多様性を認め合いながら、様々なネットワークで「つながる運動」を広げ、ともに新しい社会や時代を切り拓いていきましょう！

# 2020年連合高知新年あいさつ



明けましておめでとうございます。

今、日本の社会経済は、人口減少と超少子高齢化の急速な進行や第4次産業革命といわれる技術革新など大きな構造変化の局面に入っています。高知県においては人口減少のペースが加速しており、昨年にはついに70万人を切ることになり、地域の持続可能性の確保に向けて待ったなしの取り組みが求められています。

このような中、昨年連合は結成30周年を迎え、新しい連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す」を策定し、果敢に社会問題に対応していくための新たな一歩を踏み出したところです。

連合高知としても、「安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す」「男女平等をはじめとして真の多様性が根付く職場・社会を実現する」などの目標を構成組織・組合員の皆さんと共有しながら、多くの組合員が参加し、多様な市民の皆さんと協働する運動の構築をめざしていきたくと考えます。特に、労福協の一員として、経済的困窮・移動の制約等多様で複合的な課題と抱える方々の生活を支える取り組みを通じて「誰もがつながり合い支え助け合いながら暮らすことのできる地域共生社会」実現の取り組みに全力をあげていきます。

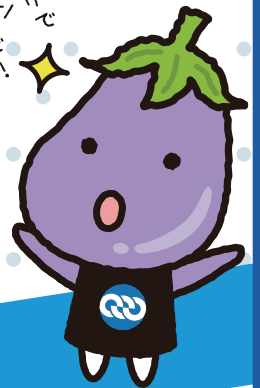
皆様方のこれまで以上の、連合高知の運動に対するご支援とご協力をお願い申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



日本労働組合総連合会 高知県連合会  
会長 折田 晃一

安心して働くために…  
つくろう! はいろう!  
労働組合!

つなぐ  
つなぐ  
つなぐ



ひとりで悩んでいませんか?

労働組合は  
誰でもはいます。誰でもつくれます。

まずは**連合**にご相談を!

クラシノ  
ソコアゲ  
応援団!

RENGOキャンペーン  
一人ひとりが主役です。

フリーダイヤル

いごうよ

れんごうに

0120-154-052

連合が組合づくりを  
お手伝いします!



連合高知



# 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、「四国ろうきん」では、本年4月から始まる2020年度をお客様と対面しての個別提案活動「ありがとう祭」はもとより、ブロック営業体制の最終確定やグループ改革・事務改革などを完遂させることで、さらなるお客様へのサービス向上を実践する「第7期中期経営計画」の総仕上げの重要な年度と位置付け、取り組みを強化いたします。

今月末には、進化するデジタル化やキャッシュレス化に対応すべく、昨年10月に導入した「ろうきんアプリ」に続き、QR決済第1弾としてLINE Payと提携し、お客様のさらなる利便性を追及させて頂く予定でございます。

そして昨夏、「四国ろうきん」は、労金業態としては初の「えるぼし認定（三ツ星）企業」に認定され、今春から新設される「プラチナえるぼし」の取得に向け果敢に挑戦してまいります。

加えて「人生100年時代」にしっかり対応すべく①資産寿命を伸ばす、②高齢者の資産を守る、③スムーズな資産継承を実現するための様々な対策を打ってまいります。

一方、内部的には、全役職員が「チームろうきん」として一丸となってワークライフバランスの改善やSDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」の考えのもと、ディーセントワークを実現し、「四国ろうきん」にふさわしい「組織風土」の確立に取り組みます。そしてそのことで「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」としての社会的使命と役割を果たしていく所存でございます。

本年も皆様にとって幸せ多い年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

2020年1月



四国労働金庫 理事長 杉本 宗之

※えるぼし認定企業 女性の活躍推進に関する状況が優良な企業に対して厚生労働大臣が認定する。

※SDGs（エスディージーズ:Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標）とは、世界（社会）が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットです。

# だれ一人取り残さない



あけましておめでとうございます。

あわただしい日々を離れ、少しはリフレッシュできましたでしょうか。

また、日ごろからこくみん共済 coop(全労済)の運動に格段のご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

今年も、日本列島は連続して台風に襲われ、とりわけ19号による豪雨では97名を超える尊い人命が失われ、多くの河川の氾濫が相次ぎ、今なお、自宅再建の見通しがつかないまま、避難所生活を送らなければならない人々がいます。心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

現在、こくみん共済 coop は、千葉をはじめとした被災地に全国からの支援動員を派遣し、一日も早い共済金のお支払いに全力を挙げているところです。私どもこくみん共済 coop として「働くものの助け合い」としての本領を発揮すべく一層努力していきますとともに、皆さまと一緒に「公助の充実」を求める運動の一翼を担っていきたくと思います。

私は、昨年まで「三方よし」という近江商人の格言をこくみん共済 coop 高知の運動において実践したいと申し上げてきました。今年、これをさらに一歩進めて、「だれ一人取り残さない」をキャッチフレーズにしています。

「だれ一人取り残さない」は国連のSDGsのキャッチフレーズです。貧困や飢餓をなくそうというのが第一目標です。もちろん、これをこくみん共済 coop だけで成し遂げられるはずはありませんが、高知推進本部として、その一員になるべく、新たな一歩を踏み出したいというのが、私の願いです。

沖縄労金が「沖縄ゆめみらい基金」という仕組みを作られています。労金に定額自動寄付口座を開設していただき、これを基金にして貧困に苦しむ皆さんの自立を支援する仕組みです。こくみん共済 coop 沖縄も自賠責新規契約1件につき100円を基金に寄付しています。

私は、これをこくみん共済 coop 全労済全体の制度として構築できないかと提起しています。例えば、組合員の皆さんには割戻金の何割かを基金に寄付する契約をしていただく、こくみん共済 coop もそれに応じて契約1件あたりいくらかという寄付をする形です。

あわせて、連合・労福協と共同して「高知フードバンク(仮称)」を再構築したいと考えています。県内でも子ども食堂が70か所以上開設されるなど、大人にも子どもにも、食べていくことが困難な人々が増えています。そして、その人々にシンパシーを寄せ、「何かできることをしたい」という人々も増えています。それらの人々をつなぎ、食材を確実に提供できるシステムを作りたいと考えています。

現在、個人が運営されている「フードバンク高知」があり、県・市町村社協が運営されているフードバンクもあるのですが、人的・物的体制は不十分で、県内全域をカバーするには手が回らない状況となっています。連合・労福協という枠組みで、県内の労働組合や心ある人々にご協力いただいて、県の隅々まで行き届く体制を整えたいと考えています。

こくみん共済 coop は、組合員・協力団体の皆様が、「みずから作った組織=生協」です。より、皆さんのニーズにあった共済制度を構築し、より、皆さんに寄り添って存在する組織であり続けたいと思います。常にその原点に立ち返り、皆様方とともに歩む一年としたいと思います。

今年も、よろしく願いいたします。



こくみん共済 coop <全労済> 高知推進本部

本部長 山崎 秀一

2019年6月、  
全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済	団体生命共済	住まいる共済
総合医療共済	せいめい共済	交通災害共済
マイカー共済	自賠責共済	新セット移行共済



こくみん共済 NEWS  
こくみん共済 coop  
公式キャラクター ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ  
**こくみん共済 <全労済>**  
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は賢利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

# 年頭のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。皆様にとりまして希望に満ちたよい年になりますように心からお祈り申し上げます。

労働者福祉運動を進めておられる労福協の活動や事業に心から敬意を表します。

県生協連も皆様方のご協力により災害支援の取組み、平和活動の取組みなどを積極的に行ってまいりました。労福協の活動に結集する皆様とともに知識の向上、生活の改善、文化の向上など図るための諸行事や事業をとおして連携・連帯の輪を大きく広げる活動ができていることを心より厚く御礼申し上げます。

2020年の干支は「子」。ご存じのように十二支の始まりです。新しいことが生み出されるといわれる子年は今までで完成したものから不要な価値観をそぎおとし新しい環境へ対応する体制を整える年の始まりです。今後も会員の皆さんに依拠して事業と活動を展開していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

労福協機関紙「おすび」の読者の皆さん、そして皆さんを支えるご家族の皆さんの健康を祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。



高知県生活協同組合連合会  
会長 西山 武

## 2019 高知県生協連活動報告

### 谷口真由美さんをお招きして、講演会をちよテラホールで開催しました。



谷口真由美氏

高知県生協連創立 60 周年を記念し、国内のすべての法律の前提となり、今後改正の動きのある日本国憲法について、法学者であり、テレビ番組「サンデーモーニング」(TBS) のコメンテーターとしても活躍されている谷口真由美さんをお招きして講演会を開催しました。高知新聞にチラシを入れた時から反響は大きく、当日ちよテラホールに約 180 人が来場しました。谷口真由美さんの講演は、日本国憲法の憲法全文を資料として、笑いも交えながら一般の方にもわかりやすい内容で、あっという間の 110 分でした。アンケートの内容も、「とても良かった」が殆どで「難しい憲法をわかりやすく話してくれた」等の声も多く、満足度の高い講演会となりました。



## 労働者福祉運動で、 共助の輪を地域に広げよう!

- はたらく仲間の助け合い・支え合いを!
- 労働組合と協同組合(ろうきん・こくみん共済coop・生協)が働く人と地域に安心を届ける存在になろう!
- 地域の防災・減災に取り組もう!

多重債務や自然災害から家族を守ろう!

早めの対策が  
肝心!



高知県労福協



## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当組織は、中小企業で働く勤労者の皆様の福利厚生の実と生活の安定、勤労意欲の向上を目的とした会員制の互助組織です。

各種共済金の給付や健康の維持増進に向けた検診助成、レクリエーション活動の助成、ファミリーサポートセンター事業の受託など、多彩な事業を展開しています。

今後も、大きな飛躍を期して邁進してまいります。会員拡大や事業内容の充実に向け、役員及び事務局スタッフが丸となって取り組んでまいりますので、皆様方のこれまで以上のご支援、ご協力の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

皆様方にとりまして、今年が良い年でありますことを心から祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益財団法人  
高知勤労者福祉サービスセンター  
理事長 折田 晃一



## 新年のお慶びを申し上げます

新年明けましておめでとうございます。日頃は高知県退職者連合（高知県退連）に対するご支援・ご協力に衷心より感謝申し上げます。

高知県労福協は認知症予防への対策として、「音楽レクリエーション指導士」を育成しています。これは、音楽の効果を活用した健康維持・介護予防・認知症予防に関する幅広い知識を習得するものです。高齢者が集う高知県退連も他人事でないことを自覚し、元気な高齢者を増やし、要介護者を少なくしていくことが社会的急務となっており、積極的に協力していきたいと考えています。会員各位のご協力をお願いします。

暮らしの総合支援（ライフサポート）の推進として、幡多地区に続き、中央東地区にもライフサポートセンター設立され、活動を開始しています。高知県退連幡多地協・香土長地協とも連携を取りながら、活動を進めていきます。

高齢者を取り巻く生活環境、経済環境はますます厳しさを増しており、今年10月に消費税が10%になったことと合わせ、生活は今後ますます苦しくなることが想定されます。また、75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割に、介護診療も2割負担が検討されています。国の政治が乱れ、消費税が正しく社会保障制度の充実に使われるかが疑わしい状況が続いています。今こそ私たちは厳しく監視しなければなりません。

今の政治状況では、いつ解散総選挙があるかわかりません。私たちだけではなく、子や孫の世代の為にも国の方向を誤らせないよう精一杯の努力をしましょう。

高齢者が安全・安心に暮らせる社会の構築に向け、現退一致で全国の仲間と連携して運動の充実発展に邁進する所存です。本年もご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



高知県退職者連合  
会長 國 弘 昭

中小企業を応援!

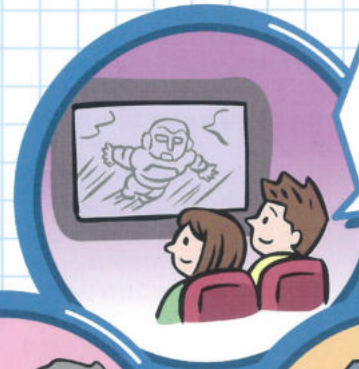
# 安心の福利厚生で

# 働くみなさまをサポート

在職中の  
生活安定を  
目指して



自己啓発と  
余暇活動の  
充実のために



健康の維持増進を  
図るために



老後の  
生活安定を  
目指して



財産形成のために



## 会員募集中

会員制の互助組織  
「クンベル高知」

### 加入対象

会員は、高知市と南国市にある従業員300人以下の事業所が対象で、事業所単位の加入とし、事業主と従業員が会員として利用できます。

### 会費はひとりにつき月額500円

事業主は会員となった月からの会費を事業所でまとめて納入となります。加入の際、入会金がひとりにつき300円必要です(事業主は、入会金の全額と、会費の半額以上を負担することが原則です)。

会費は四国労働金庫、四国銀行、高知銀行、高知信用金庫、高知県信用農業協同組合連合会(農協)の各支店のご指定口座より、年1回、2回、4回のうち希望回数で、引き落としさせていただきます。

応援します!



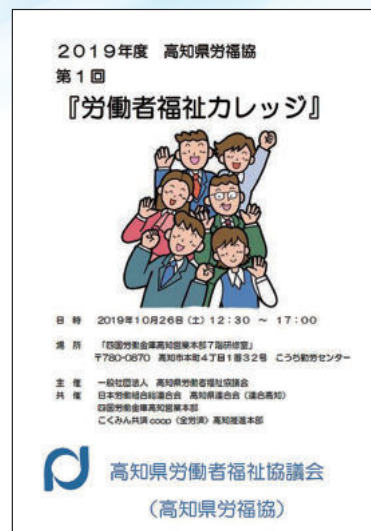
クンベル高知イメージキャラクター  
「クンベルくん」



# 2019年度第1回「労働者福祉カレッジ」開催!!

2019年10月26日(土)四国労働金庫高知営業本部7階研修室にて、参加者13名で「労働者福祉カレッジ」を開催しました。

主催者を代表して高知県労福協折田晃一会長の開会挨拶があり講義に入りました。



## 講義1 「労働者福祉運動のこれまでとこれから」

～連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会をめざして～

講師：中央労福協栗岡勝也事務局次長

## 講義2 「労働金庫と生活応援運動」

講師：労金運動推進アドバイザー久松和彦氏

「労働組合と全労済」

講師：こくみん共済coop〈全労済〉高知推進本部事業推進部長板谷学氏

の講義を受け、休憩後分散会を実施しました。

3グループに分かれた分散会では、講義1・2を受講して「ともに運動する主体」として何をするのか、どのような活動をするのかの意見交換を行い、各グループより報告がありました。



参加者よりアンケート回答にて、良かったと感想もいただきました。

### アンケート抜粋

◎労金・全労済の設立にあたっての歴史的背景を始めて学ぶことができ大変勉強させていただいた。

◎大変勉強になりました。持ち帰って若い組合員に、周知していきたい。

◎グループ討議では、色々な人の意見や状況が聞けて良かった。

◎福祉活動について無知だった為、しっかりと時間をとってお聞きすることができて良かった。

# 「南国・香美・香南地区労福協」・ 「中央東ライフサポートセンター」合同総会開催



## 研修会開催

2019年11月16日（土）「グレース浜すし」において、36名が参加し南国・香美・香南地区労福協と中央東ライフサポートセンターの合同総会が開催されました。

合同総会に先立ち、高知県労福協の井上寿夫事務局長による「労働者福祉運動について」と題した講演が行われました。



講演では、労働者福祉運動とは「労働者≒国民が幸せになるための運動」であるという基本的なことから、中央労福協の設立、生活協同組合との関わり、労働金庫・全労済の成り立ちなど労福協の歴史、さらに奨学金制度の改善の取り組みやSDGs（持続可能な開発目標）について分かりやすく話して頂きました。

高知県労福協の取り組みとして、何でも相談や確定申告相談会、フードバンク活動、また認知症予防のための「音楽レクリエーション指導士」育成の取り組みも進めており、3級音楽レク

リエーション指導士の資格を持つ井上事務局長ご自身の実践例も紹介して頂きました。

労働者福祉運動の基本や意義を再認識することができました。

2019年11月16日  
南国・香美・香南地区労福協・中央東LSC総会

### 「労働者福祉運動」について

～連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会をめざして～

高知県労働者福祉協議会  
事務局長 井上寿夫

1. 労働者福祉とは
2. 中央労福協の結成とあゆみ  
労働者用物資対策中央連絡協議会→労働組合福祉対策中央協議会  
→労働福祉中央協議会→労働者福祉中央協議会
3. 労働者福祉運動の始まり  
“福祉はひとつ”で始まった労働者福祉運動  
生活協同組合との関係
4. 労働金庫、労働者共済の設立  
労働者のための銀行を  
労働者の手で共済を
5. 中央労福協の活動  
社会的連帯を深める運動と政策の実現に向けて  
◎高金利引き下げ運動  
◎悪徳商法根絶運動  
◎奨学金制度の改善運動
6. SDGsについて
7. JCAについて
8. 高知県労福協の取り組み  
中央労福協が取り組む課題について、連携して取り組む
- 9 音楽レクリエーション指導士について

## 合同総会開催

合同総会は、折田晃一高知県労福協会長の挨拶、来賓（間嶋祐一四国労金高知営業本部長、國広昭高知県高退連会長）の紹介、地区労福協



総会、中央東ライフサポートセンター総会の順で議事が進行されました。

地区労福協総会は、藤山弘明代議員（県職連合香土長支部）を議長に選出し、武森一浩会長の挨拶を受け議案審議に移りました。



恒石雅彦事務局長から、2018年度活動報告及び会計報告、山本敬介会計監査から2018年度会計監査報告が行われ、審議の後、満場一致で承認されました。

2019年度活動計画（案）については、県労福協の方針に沿って活動を進める、組織の充実と強化を図る、会員相互の親睦交流を図る、研修会の開催や各種研修会に参加することなど、2019

年度予算（案）、役員交代に伴う役員改正案（案）が提起され、予算（案）を一部修正のうえ満場一致で承認されました。

引き続き行われた中央東ライフサポートセンター総会は、中元則夫代議員（香南市職員退職者会）を議長に選出し、佐々木生男会長の挨拶を受けて議案審議に移りました。

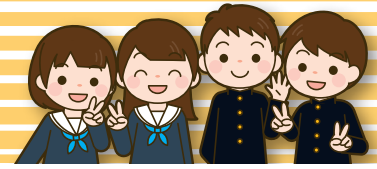
恒石雅彦事務局長から、2018年度・2019年度（上期）経過報告及び2019年度中間会計報告が行われ、審議の後、満場一致で承認されました。

2019年度活動方針（案）については、サポートセンターの設立趣旨や活動目的に沿って取り組みを進める、会員相互及び関係団体との親睦を図る、暮らしや健康に役立つ学習会や研修会を開催する、部会活動を活発に行うなど。2019年度予算（案）、全労済からこくみん共済coopへの名称変更による規約の改正及び役員交代について提案され、質疑の後、満場一致で承認されました。



最後に、竹村暢史副会長から中央東ライフサポートセンターの設立から1年を迎え関係各位への謝意と締め括りの挨拶で総会を終了しました。

# 高校生セミナー開催



## 岡豊高校「消費者セミナー」

四国労働金庫南国支店

上田詩織

2019年9月12日（木）、高知県立岡豊高校の3年生（305名）を対象に「マネートラブルにかつ!」というテーマで約40分間のセミナーを行いました。高校卒業後の進路は、進学や就職など生徒によって様々ですが、将来のお金の管理を含め、身の回りのことは自分自身で正しい判断ができるように、悪徳商法やローンの仕組み、他にも一番身近にある携帯電話の支払いや今後利用する可能性の高い奨学金のお話をしました。セミナーの中で〇×クイズを行ったりと、実際に隣の方と考えて話し合ってもらったり、真剣に私の話に耳を傾けてくれました岡豊高校の皆さんありがとうございました。もし、これからお金に関するトラブルに巻き込まれた時はこのセミナーのことを少しでも思い出していただき、今後役に立ていただきたいです。



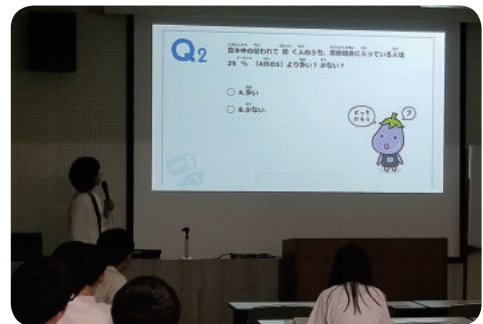
## 城山高校「労働セミナー」

連合高知副事務局長

岡林ゆり

2019年8月23日（金）、高知県立城山高等学校にて、参加者29名で「労働セミナー」を開催しました。

講師は岡林ゆり氏（連合高知副事務局長）で50分講義、高知県労福協作成の『働くときに知っちょきたいこと』をテキストに「社会人としてのマナー」「労働契約」「就業規則」「労働時間」「休日」「賃金」「各種保険」・・・etc、解りやすく説明し、好評を得ました。



## 「第6期労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」に参加して

### こくみん共済 coop 高知推進本部

橋本浩延

先日は、このような貴重な講義へ参加させていただきまして、誠にありがとうございました。2日間という短い期間でしたが、非常に貴重で内容の濃い時間を過ごさせていただくことができました。企画から、当日の運営までご準備していただいた西部労福協の方々に心から御礼を申し上げます。

さて、今回学ばせていただいたことで特に印象深かったことが2点あります。1点目は、一日目の労働者自主福祉運動に関する講義です。今まで勉強する機会がなかった、労福協の成り立ちや理念に触れることができ、今まで以上に労働者自主福祉運動に高い関心をもつことができました。

もう一点は2日目のグループワークです。各職場の課題や、若年者をはじめとする、組合離れの原因などについて普段あまり交流する機会のない自県の労働金庫さんの職員、協力団体の役員の方と意見交換をし、労働組合の各団体の労働組合の現状について生の声をきくことができました。

引き続き、労福協で研修がある際にはぜひお声をかけていただきたいと思います。

### 四国労働金庫高知支店

細木芽衣

今回の講義では、労働運動や共済事業を取り巻く社会の「今まで」と「現状」について、歴史的観点から学習しました。その中で、現在の日本では自己責任や成果主義、個人主義といった言葉や精神が多くの人や集団に浸透しており、責任と信頼で人と人をつなぎとめる連帯や絆という言葉の意味が薄れるという社会現象が起きていると知りました。

そのため労働金庫は、助け合いで生活を豊かにしたいという働く人の強い思いのもと発足したにも関わらず、若年層の組合離れやろうきん離れという課題を抱えています。それは今の社会現象や同業他社といった外部環境のせいだけではなく、私たち自身も個人主義の波にのまれ、労働組合の必要性を伝えていく活動家としての行動が不足していることも要因の一つではないかと考えさせられました。

この経験を生かし、今後どうするべきか分会や個人単位で考えていきたいと思えます。



## 2019年度 勤労者の森事業

# 『しもなの郷学びの森ウォーキング』in仁淀川 2019年11月9日(土)開催

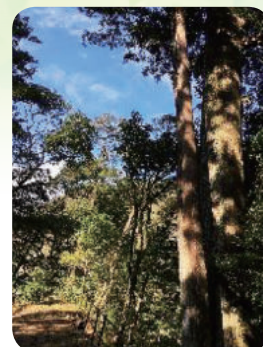
澄み渡る秋空のもと、2019年度勤労者の森事業のイベントとして、高知の大自然に触れるとともに、中山間地域の暮らしや森林環境について学び、自然の豊かさを体感し、地元の方々と交流することを目的とした「しもなの郷学びの森ウォーキング」を開催しました。イベントには、大人34名と小人2名の計36名が参加し、マイクロバス2台に揺られながら仁淀川町しもなの郷に到着。はじめに、勤労者の森実行委員会の代表代理として、四国労働金庫高知営業本部の井上氏が挨拶を行い、続いて現地スタッフの中西さんとガイドの北平地さんの挨拶が終わりオリエンテーションに入りました。続いて、学びの森ウォーキングが始まり、片道2キロの遊歩道をゆっくり時間をかけウォーキング。北平地さんのガイドのもと、珍しい山林植物や地域の歴史にふれ、参加者は興味深く聞き入っていました。下名野川脇の遊歩道を少し下ると、神社の境内に大きな杉の木が2本お出迎え。そのうちの1本は落雷にあい、真っ二つに裂けても、今もなおおそびえ立つ姿を目にすると、大自然のパワーに心動かされるものがありました。



昼食は、地元の食材を使ったボリューム満点の『田舎弁当』と仁淀川源流で育った『アメゴの塩焼き』を美味しくいただきました。現地スタッフの方々、美味しいお弁当をありがとうございました!!

午後からは、『コンニャクづくり』と『蕎麦打ち』のグループに分かれ、それぞれ現地スタッフの説明を熱心に聞き体験スタート。『コンニャクづくり』は、重くて固いコンニャク芋を素手で触ると大変なことに。皆さんビニール手袋を装着し、いざ作業へ。茹でておいたコンニャク芋を工程どおり進めていき、真ん丸になったコンニャクを1時間程度コトコト茹でて出来上がり。『蕎麦打ち』は、日ごろ見慣れていない大きなこね鉢とのし板を囲み、蕎麦粉を混ぜます。蕎麦打ちの一番難しいところは蕎麦を均等に切る作業で、参加者からは「なかなか難しいね〜!」「太いかも、また味があってえいわえ」など楽しく作業をされていました。出来上がったコンニャクと蕎麦は、持ち帰って美味しくいただきました。

今年度も、大自然に親しみ・学び、思い出に残る体験が出来ました。また、「しもなの郷」スタッフの方々のご協力が無事に終了することができ、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



午後からは、『コンニャクづくり』と『蕎麦打ち』のグループに分かれ、それぞれ

現地スタッフの説明を熱心に聞き体験スタート。『コンニャクづくり』は、重くて固いコンニャク芋を素手で触ると大変なことに。皆さんビニール手袋を装着し、いざ作業へ。茹でておいたコンニャク芋を工程どおり進めていき、真ん丸になったコンニャクを1時間程度コトコト茹でて出来上がり。『蕎麦打ち』は、日ごろ見慣れていない大きなこね鉢とのし板を囲み、蕎麦粉を混ぜます。蕎麦打ちの一番難しいところは蕎麦を均等に切る作業で、参加者からは「なかなか難しいね〜!」「太いかも、また味があってえいわえ」など楽しく作業をされていました。出来上がったコンニャクと蕎麦は、持ち帰って美味しくいただきました。



高知県は、ひとつの大家族やき。



困っちゃうことは、何でもいっぺん相談してみいや!



ほいたら、みんなあで、

いっしょに考えるきねえ!

使用者相談例

配置転換・出向の拒否、労働条件の円満な話し合い

労働者相談例

パワハラ、賃金未払い、賃下げ、サービス残業、解雇

相談受付 8:30~17:15 月~金 (祝日・年末年始を除く)

お電話で 088-821-4645

PC・スマホ・携帯の方はメール送信フォームからでも [www.pref.kochi.lg.jp/form/240101/mailform.html](http://www.pref.kochi.lg.jp/form/240101/mailform.html)



高知県労働委員会

〒780-0850 高知市丸ノ内 2-4-1 県庁北庁舎 4F

URL : [www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/240101/](http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/240101/) 高知県労働委員会



## 確定申告無料相談会のお知らせ



毎年好評を得て開催いたしております確定申告無料相談会を今年度も高知県退職者連合、連合高知、四国労働金庫と協力し、税理士法人アクティーフ（森本倫光税理士）のご指導を得ながら右記要領で開催いたします。

年々参加者が増えている関係で全会場とも**予約制と定員**を設けさせていただきますので、ご了承ください。（※なお譲渡所得と事業所得についての申告は、お取り扱いしておりません。）

記

### 1. 開催日時（高知は午前9時30分から午後3時まで）

須崎地区 2020年2月3日（月）午前10時～午後3時まで  
会場：四国労働金庫須崎支店2階【定員30名】

高知地区 2020年2月4日（火）～2月5日（水）  
会場：高知会館 飛鳥【定員60名（両日とも）】

安芸地区 2020年2月6日（木）午前10時～午後3時まで  
会場：四国労働金庫安芸支店2階【定員30名】

南国地区 2020年2月7日（金）午前10時～午後3時まで  
会場：四国労働金庫南国支店2階【定員30名】

### 2. 申込先 いずれの地区も高知県労福協へ TEL 088-824-3583 又は 088-824-5533

### 3. 受付期間 2020年1月9日（木）～1月16日（木） 午前9時～午後5時まで

- ・受付開始直後は電話が集中し、話し中にご迷惑をおかけする場合があります
- ・受付期間中でも定員になり次第、予告なく受付を終了させていただきます

2019 全国一斉  
**Action!**  
福祉強化キャンペーン

 高知県労福協

全国で展開中!



- 労働者福祉運動で、共助の輪を地域に広げよう!
- 奨学金制度を改善し、教育費負担軽減につなげよう!
- 生活・就労支援を地域のネットワークで支えよう!



# 「助けてと言える社会へ」

～無縁社会と家族機能の社会化～

2020年 1/18(土) 13:00～受付  
13:30～開始

高知会館：白鳳の間

講演：NPO法人抱樸  
奥田知志理事長

## 高知県労福協 研修会

定員：200名  
参加費：無料  
申込締切：1/14(火)17時まで  
申込先：(一社)高知県労働者福祉協議会

### 【講師紹介】



奥田知志(おくだ ともし) NPO法人抱樸理事長、東八幡キリスト教会牧師  
1963年生まれ 関西学院神学部修士課程、西南学院大学神学部専攻科をそれぞれ卒業  
九州大学大学院博士課程後期単位取得 1990年、東八幡キリスト教会牧師として赴任、同時に、  
学生時代から始めた「ホームレス支援」を、ボランティアとしてだけでなく、教会の課題として  
継続し、北九州市において、3400人(2019年2月現在)以上のホームレスの人々を自立に導いた  
NPO法人抱樸(旧北九州ホームレス支援機構)の理事長としての重責も担う。その他、社会福祉法  
人グリーンコープ副理事長、共生地域創造財団理事長、国の審議会等の役職も歴任。第19回糸賀一雄記念賞受賞  
など多数の表彰を受ける。NHKのドキュメンタリー番組「プロフェッショナル仕事の流儀」にも2度取り上げら  
れ、著作も多数と広範囲に活動を広げている。  
著書：「もう一人にさせない」(いのちのことば社)、「助けてと言える国へ」(茂木健一郎氏共著・集英社新書)、「生活  
困窮者への伴走型支援」(明石書店)等

### 主催

一般社団法人 高知県労働者福祉協議会  
日本労働組合総連合会高知県連合会(連合高知)

### 後援

高知県/高知市/高知県社会福祉協議会/高知市社会福祉協議会  
高知新聞社/RKC高知放送/KUTVテレビ高知  
KSSさんさんテレビ

2020年 月 日

# 2020年度高知県労福協研修会

## 参加申込書

2020年1月18日(土) 開催

申込締切▶1月14日(火) 17時まで

- ▶ 定員数に限りがありますので、必ずお申し込みをお願いします。
- ▶ 申込方法は、FAXまたは郵送での受付もいたします。(持参可)

団体名			
参加者氏名	TEL(連絡先)	参加者氏名	TEL(連絡先)

### 申込先

**(一社) 高知県労働者福祉協議会**

〒780-0870 高知市本町4丁目1-32

TEL: 088-824-3583 FAX: 088-875-4887

担当: 井上・武市